

令和7年度の重点課題

○男女ともすべての種目において、県平均値、全国平均値を上回っている。

○在籍4名中3名は総合評価Aである。複式で授業を行っている学年と合わせて、全体的な体力向上につなげていく。

○一日の活動時間が30分未満の児童が4名中1名いる。他の児童は1時間以上2時間未満が2名、2時間以上が1名である。

○在籍児童数が少なく、男女比も偏りがあるため、活動できる内容に制限が多い。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○遊びや競争の要素を取り入れて、仲間と楽しく運動ができるようにする。

○全校レクリエーションの企画を委員会で取り組んだり、月に1回昼休憩に体育館を利用して遊ぶ計画を立て、実施した。

○オリンピック、パラリンピアン講演会や、女子野球選手によるTボール教室の計画をしていたが、調整がつかず実施できなかった。

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.00	19.50	40.00	44.75	56.50	9.80	156.50	22.25	55.50	第5学年	14.50	15.00	29.00	45.00	37.50	9.30	163.50	14.00	56.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和8年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

県の調査結果が公表された後、データ入力シートに最新の県平均値(R8)を記入し、比較を行います。

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	75.00	25.00	0.00	0.00	第5学年	50.00	50.00	0.00	0.00

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・授業の導入5分間に、「上体起こし」や「プランク」などの体幹トレーニングや、ペアで行う長座体前屈のストレッチをルーティンとして取り入れることで、基礎的な筋力と柔軟性を高める。
- ・短い距離を全力で走る「折り返しリレー」や「おにごっこ」を導入し、走力向上を図る。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・業間休みや昼休みを利用し、全校または学年で「レクリエーション」や「お楽しみ会」を開催する。運動が好きな児童の特性を活かし、遊びの延長で持久力や走力を高める。
- ・朝の会や帰りの会の時間に、座ったままできるストレッチを指定期間に短時間実施する。柔軟性を高めるために、体育の授業では長座の姿勢でのストレッチを習慣化させる。

重点課題

情意面での課題

・男女ともに「運動やスポーツが好き・やや好き」と回答した割合が100%であり、運動に対する意欲自体は非常に高いという強みがある。

体力面での課題

- 男子
 - ・50m走の記録は9.8秒であり、平均値を下回っている。
- 女子
 - ・上体起こしの回数は15回であり、平均値に届いていない。
 - ・長座体前屈は29.00cmであり、課題となっている。

令和9年度の
重点目標値

- 運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合を、100%にする。
- 「50m走」、「上体起こし」、「20mシャトルラン」で、前回の学年の記録を上回るようにする。

令和7年度の重点課題

○男子では、「握力」「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値未満である。

○女子では、「上体起こし」以外の種目において、県平均値かつ全国平均値未満である。

○全体では、全員の活動に参加しているが、「1日の活動時間が30分以上1時間未満」の生徒が50%、「1時間以上2時間未満」の生徒が50%となっており、部活動の参加状況の改善が課題である。

○女子では、運動やスポーツをすることが「やや好き」と答えた生徒の割合が100%である。苦手な運動に対して敬遠しがちな面がある。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○準備運動の中に、授業で行う運動に関連した体力向上につながる運動を取り入れた。

○授業内で、全力を出し切る活動を仕組み、体に負荷をかける運動をさせた。

○委員会が主体となり、全校レクリエーションや昼休み体育館レクリエーションなどの企画を通して、業間体育での取組を進める。

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	30.00	20.00	33.00	57.00	70.00		7.80	199.00	16.00	37.00	第2学年	21.67	18.33	47.33	49.00	53.00		9.13	156.00	9.33	42.67

県平均値かつ全国平均値未満

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和8年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

県の調査結果が公表された後、データ入力シートに最新の県平均値(R8)を記入し、比較を行います。

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	0.0	100.0	0.0	0.0	第2学年	33.3	66.7	0.0	0.0

重点課題

情意面での課題

- 男子
・運動やスポーツをすることが「やや好き」と答えた生徒の割合が100%である。情緒面での課題は見られない。
- 女子
・運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と答えた生徒の割合が100%である。苦手な運動に対して敬遠しがちな面がある。

体力面での課題

- 男子 ・「上体起こし」、「長座体前屈」、「20mシャトルラン」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子 ・「握力」、「上体起こし」、「50m走」、「立ち幅とび」、「ボール投げ」の種目において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体 ・全員の活動またはスポーツクラブに加入しており、全員の1日の活動時間が「1時間以上2時間未満」となっている。短い時間での活動内容の充実が課題である。

令和9年度の
重点目標値

- 新体力テストの総合評価(AB-DE)率がマイナスにならないようにする。(今年度は0%)
- すべての種目において、得点平均が6以上を目指す。
- 体力総合評価が全員C以上を目指す。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・楽しみながら運動して体力向上につなげられるように、用具や器具を利用したトレーニングメニューを工夫する。(バランスボール、ラダーなどを使った運動など)
- ・強度を保ちながら持続して行えるように、タイムトライアルなどの課題設定をして運動を行えるようにする。(往復走、なわとびなど)

体育の授業以外で行う取組内容

- ・委員会が主体となり、全校レクリエーションを企画したり、昼休みの体育館レクリエーションなどを定期的に計画して、業間体育の運動取組を進める。
- ・オリンピック、パラリンピックの講演会を実施する。